

現 長野県スポーツ推進計画の 振り返り

基本目標 1	学校と地域における子どものスポーツ機会の充実
---------------	-------------------------------

1 数値目標

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H22年度)	H26年度		H27年度		H28年度		目標値 (H29年度)
				目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	
	体力合計点	点	49.1	49.9	49.4	50.2	50.1	50.6	50.1	51点台
	体力合計点の全国順位	位	31	27	27	25	19	22	23	10位台

2 取組の状況

	施策項目	実施状況	現状・課題
1	幼児期からの子どもの体力向上方策の推進	<p>長野県版運動プログラムの普及 ☞長野県版運動プログラムのDVD作成等</p> <p>幼児期からの運動の習慣化 ☞キッズ運動遊びどこでもゼミナール等実技講習会の開催</p> <p>学校における体力向上に向けた取組の定着化と促進 ☞ながのスポーツスタジアムの実施</p> <p>指導者研修の実施 ☞長野県版運動プログラム普及講座等の実施</p> <p>先進好事例の市町村への普及定着支援 ☞市町村の先進事例・好事例を市町村教委へ情報提供</p>	<p>○長野県版運動プログラムDVDは、平成28年度に小学校81.7%、中学校90.4%の活用率があった。 【長野県教育委員会調】</p> <p>○長野県版運動プログラム普及講座においては、平成28年度には385名の指導者の参加があった。</p> <p>○小学生から高校生の体力は上向き傾向にあるが、全国平均と比べると、小中学生女子、高校生男女が下回る。</p> <p>○中学校女子において、体育の授業を除く1週間の総運動実施時間0分の割合が高く、運動・スポーツをする子どもとしない子どもの二極化が顕著である。</p>
2	学校の体育に関する活動の充実	<p>専科教員の配置 ☞専科教員の配置には至らなかったが、個々の教員の体育学習の指導力向上を図るため各種講習会・研修講座等を開催</p> <p>教員研修の充実 ☞体罰根絶のための研修等、研修の機会拡大と参加呼びかけ</p> <p>安全で充実した武道学習の定着化 ☞剣道・柔道の研修講座の開設</p> <p>運動部活動の適正化推進 ☞長野県中学生期のスポーツ活動指針の策定等</p> <p>外部指導者、障がい者スポーツ指導員等の活用 ☞外部人材による高等学校指導協力派遣事業の実施</p> <p>魅力ある自然体験学習を安全に実施するための研修の充実 ☞指導者対象講座・学校登山引率教員対象講座等の実施</p> <p>障がいのある児童生徒に対する支援 ☞個別の指導計画の作成、障がいのない生徒との交流学习推進等</p> <p>学校体育施設の充実 ☞耐震化工事の推進、吊り天井等の落下防止対策の実施</p>	<p>○平成28年度指導力を高める(体罰根絶)研修会では、78名の参加があった。</p> <p>○小学校男女と中学校男子は、「運動が好き・やや好き」と回答する子どもが多い一方、中学校女子は、「運動が好き・やや好き」と答える子どもが全国平均より低い。</p> <p>○長野県中学生期のスポーツ活動指針を踏まえ、休養日を設けるなど、適切な部活動を行うことで、過度な練習に一定の歯止めがかけられている。</p> <p>○武道実技講習会や学校体育・スポーツ事故対応研修会などの実施により、平成24年度の中学校武道必修化以降、県内で重篤な事故は発生していない。</p> <p>○学校施設の耐震化率は、小中学校で99.2%、高校で91.8%、特別支援学校で100%となっている。 【長野県教育委員会調】</p>
3	子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実	<p>子どものスポーツ環境の充実 ☞キッズ運動遊びどこでもゼミナール等の実施</p> <p>障がいのある子どもが運動をする機会の充実 ☞障がい者スポーツ指導員養成事業、障がい者スポーツ研修会等の実施</p>	<p>○キッズ運動遊びどこでもゼミナール等、長野県版運動プログラム普及講座においては、県内のべ20回開催し、幼児期から中学生までの子ども1,543名の参加があった。(平成28年度実績)</p> <p>○スポーツ少年団は団員・団数ともに減少傾向にある。 (団数) H23 596団体 ⇒ H27 565団体 (団員数) H23 17,303人 ⇒ H27 15,993人 (指導者) H23 4,098人 ⇒ H27 3,857人 【長野県体育協会調】</p>

1 数値目標

	指標名	単位	基準値	H26年度		H27年度		H28年度		目標値 (H29年度)
				目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	
進捗状況	運動・スポーツ実施率 週1回以上実施	%	48.3 (H24実績)	54.9	47.4	58.2	45.1	61.6	未確定	65.0
	週3回以上実施	%	27.9	28.7	26.3	29.1	25.6	29.5	未確定	30.0
	1年に一度もしない	%	10.3	6.1	11.6	4.0	11.8	1.9	未確定	0に近づける
	障がい者の主なスポーツ大会、イベント、教室等の参加者数	人	14,731 (H23実績)	16,194	15,629	16,694	16,040	17,209	未確定	17,700

2 取組の状況

	施策項目	実施状況	現状・課題
1	ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進	<p>身近なところでスポーツに親しめる環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 総合型地域スポーツクラブの育成・支援等 ☞ 信州チャレンジスポーツDAY等のスポーツイベントを実施 ☞ 地域スポーツの新たなプラットフォーム形成支援事業の実施 <p>スポーツボランティア等の活動機会の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ スポーツ課HPでスポーツイベント開催情報を周知 <p>障がい者の自主的なスポーツ活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 各種障がい者スポーツ教室・イベントの実施 ☞ 県障がい者スポーツ推進会議の設置等 	<p>○本県の週1回以上スポーツに親しむ人の割合(運動・スポーツ実施率)はH26、H27と2年連続で下降傾向であり、H27の運動・スポーツ実施率は45.1%である。(H27全国平均 40.4%) 【H27 長野県県政モニターアンケート調査】 【内閣府調:H27東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査】</p> <p>○運動・スポーツを行わなかった理由は、年齢別にみると20代~60代は「仕事(家事・育児含む)が忙しくて時間がないから」が最も多く、70代以上では「年をとったから」が59.9%で最も高い。 【内閣府調:H27東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査】</p> <p>○週1回以上スポーツ・レクリエーションを行った障がい者(20歳以上)の割合は19.2%と健常者と比べ低い。 【内閣府調:H27東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査】</p> <p>○スポーツ・レクリエーションへの取組に対し、「特に関心はない」と答えた割合が48.7%、「行いたいと思うができない」が22.4%であった。 【文部科学省調:健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業報告書】</p>
2	スポーツにおける安全の確保	<p>指導者や施設管理者、競技に対する専門的知識の普及・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 県体協で体力向上・医科学専門委員会の実施 <p>AEDの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 市町村へAEDマップへの登録・活用の推進等 ☞ スポーツイベント等へのAED貸出 <p>山岳遭難防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 山岳ヘルメット着用奨励山城の設定 ☞ 長野県登山安全条例の制定 	<p>○誰もが安全にスポーツを楽しめるように、スポーツにおける安全対策や事故防止についてより一層取り組む必要がある。</p> <p>○県有施設へのAED設置状況 H25 287台(全237施設) H27 291台(全213施設) 【長野県調】</p> <p>○登山における遭難件数・遭難者数は平成25年が300件と最多で、平成27年は283件と高水準で高止まりしている。 【長野県調】</p>

基本目標 3	住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備
---------------	--------------------------------

1 数値目標

進捗状況	指標名	単位	基準値 (H22年度)	H26年度		H27年度		H28年度		目標値 (H29年度)
				目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	
	総合型地域スポーツクラブの加入者数	人	17,050	20,500	18,591	22,000	19,852	23,500	未確定	25,000

2 取組の状況

	施策項目	実施状況	現状・課題
1	コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの育成・推進	<p>地域スポーツ活動を支える多様な主体の連携支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞市町村と総合型地域スポーツクラブの連携支援・マッチング <p>総合型地域スポーツクラブの育成支援と安定運営に向けての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞市町村と総合型地域スポーツクラブの連携支援・マッチングを通じた委託業務等の受注機会の創出 	<p>○本県の総合型地域スポーツクラブの育成率(H27)は67.5%で、全国と比べて低い状況である。(全国平均80.8%)</p> <p>【文部科学省:総合型地域スポーツクラブ育成状況調査】</p> <p>○総合型地域スポーツクラブでは、自主財源・会員の確保等永続的な安定運営が課題となっている。</p>
2	地域のスポーツ指導者等の充実	<p>地域のスポーツ指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞長野県広域スポーツセンター指導者派遣事業の実施 <p>スポーツ推進委員の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞長野県スポーツ推進協議会事務局として各種会議の開催 <p>有資格指導者育成の推進と有効な活用方策の研究等</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞アドバイザー養成講習会の開催 <p>指導者の相互派遣等クラブ間の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞総合型クラブ連絡協議会の実施 <p>アシスタントマネジャー資格取得の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞アシスタントマネジャー養成講習会の開催 <p>指導者が指導に専念できる雇用環境の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞総合型クラブ連絡協議会で情報交換・共有 	<p>○総合型地域スポーツクラブのクラブマネジャーの世代交代ができず、活動が休止になったクラブがある等、クラブの核となるマネジャーの育成が課題である。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブのクラブマネジャーや指導者には、スポーツの指導力のほか、クラブ運営に必要な経営力等が必要となっている。</p> <p>○障がい者への安全なスポーツ指導法や障がい特性を理解した指導者の育成・配置が求められている。</p>
3	地域スポーツ施設の充実	<p>誰もが安全・快適に利用できるスポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞施設のバリアフリー化等の働きかけ <p>県営スポーツ施設の適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞修繕・改修工事の優先度評価制度等を活用し、計画的に施設修繕を実施 <p>武道を振興するための施設の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞県立武道館基本構想の策定 <p>施設の有効かつ効率的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞学校体育施設等の一般開放の推進 <p>スポーツ施設の整備及び運営面での工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞民間資金(スポーツ振興くじ(toto))を活用した施設改修の実施 <p>スポーツ施設管理者等の障がい者スポーツへの理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル(東京都)の情報提供、活用促進 	<p>○誰もが安全・快適に利用できるよう、必要な整備及び適切な維持管理が必要となっている。</p> <p>○老朽化等が進む施設については、財政負担を平準化するための、計画的な修繕・改修が課題となっている。</p> <p>○地域によっては、体育施設の利用が休日等に集中し、スポーツをしたくても体育施設が利用できない等の問題が起きている。</p>
4	地域スポーツと企業・大学との連携	<p>人的・物的資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞総合型クラブ連絡協議会等で好事例の紹介・情報提供 	<p>○企業が総合型地域スポーツクラブの賛助会員となる等、一部では企業と地域スポーツの連携が見られるが、更なる広がりが必要である。</p>

1 数値目標

	指標名	単位	基準値	H26年度		H27年度		H28年度		目標値 (H29年度)
				目安値	実績値	目安値	実績値	目安値	実績値	
進捗状況	国民体育大会 男女総合(天皇杯)順位	位	17 (H24:67回)	17	20	16	14	16	19	15位以内 (H29:72回)
	国民体育大会 冬季大会順位	位	2	1	2	1	2	1	2	1
	国民体育大会 本大会順位	位	38	20位台	41	20位台	33	20位台	41	20位台
	国民体育大会(少年)・ 全国高等学校総合体育大会・ 全国中学校体育大会の入賞者数	人・団体	178	186	191	190	211	195	未確定	200
	平昌冬季オリンピック (H30.2)で SWANからメダリスト輩出	-	-	-	-	-	-	-	-	-

2 取組の状況

	施策項目	実施状況	現状・課題
1	選手の育成強化、 指導者養成による 競技力向上	<p>オリンピック・パラリンピック等の国際舞台や国民体育大会等の全国規模の大会で活躍できる選手の育成強化 ☞オリンピック育成支援事業、SWANプロジェクトの実施</p> <p>一貫指導体制の充実 ☞競技力向上専門委員会において好事例等の情報共有や課題解決の検討</p> <p>指導者養成の取組への支援 ☞指導者講習会、トップ指導者ミーティング等の開催</p> <p>国民体育大会等の意義や競技結果の発信 ☞スポーツ課facebook、県体協だより等を活用した情報発信</p> <p>競技者へのマルチサポートの推進 ☞各競技団体へのスポーツ医・科学サポートチームの派遣</p>	<p>○国民体育大会等の全国規模の大会での活躍が一部の種目・選手に偏っており、県内の各競技団体全体の競技レベルの底上げが課題である。</p> <p>○指導者の高齢化が進み、指導技術の継承が課題となっている。</p> <p>○本県の少年種別の獲得得点はH27は37位、H26は47位(最下位)と低迷しており、少年の競技力向上は急務である。</p>
2	ジュニア選手 特別強化の取組	<p>子どもたちがスポーツに夢を持てる選手との交流推進 ☞各プロスポーツチームが主体となり、地域との交流イベント・スポーツ教室等を開催</p> <p>ジュニア選手の発掘・育成の推進 ☞オリンピック育成支援事業、SWANプロジェクトの実施</p>	<p>○一部の競技では選手の発掘育成の体制が整っているが、その他多くの競技団体では選手の発掘育成体制が十分とは言えない状況である。</p>
3	本県での開催が 予定される 全国大会に向けた 選手強化	<p>競技団体・学校体育団体の一体となった強化 ☞本県開催の種目に対し、各団体と一体となった強化事業を実施</p> <p>中・長期にわたる選手の育成強化の取組 ☞H30福井国体に向けた各競技団体の中期強化計画の推進・助言・支援等</p>	<p>○次回、本県で開催される国民体育大会に向けた選手の育成強化が必要である。</p>

基本目標 5 スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

1 取組の状況

	施策項目	実施状況	現状・課題
1	トップスポーツと地域における連携・協働の推進	<p>トップレベルの選手が活躍する場の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ トップアスリート派遣事業の実施 ☑ 長野県広域スポーツセンター指導者派遣事業の実施 <p>ジュニア期における適切な支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 競技力向上専門委員会でのデュアル教育研修の実施 	<p>○アスリート現役引退後のセカンドキャリアに向けた計画的準備や周囲の支援が不足している。</p> <p>○ジュニア期からの更なるデュアル教育が必要である。</p>
2	地域スポーツと企業・大学との連携	<p>選手が県内にとどまり競技生活を継続できる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 県内企業・学校へ選手の競技活動のための環境整備について要請 ☑ (一社)長野県経営者協会へアスリートの就職支援について協力依頼 <p>大学との連携方策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 長野県総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業の連携・推進に関する連携協定の締結と協定に基づいた協力 	<p>○国体で活躍できるレベルの本県出身選手が、大学等卒業後も競技生活を続ける場合、多くの選手が県外へ就職している。</p> <p>○本県で就職を希望するアスリートが存在することや、採用に関する認識が県内企業に不足している。</p> <p>○本県で働きながら競技生活を継続していける環境整備が必要である。</p> <p>○大学の有する人的・物的資源を十分に活かし切れていない。</p>

基本目標 6 多面にわたるスポーツの果たす役割の活用

1 取組の状況

	施策項目	実施状況	現状・課題
1	スポーツによる地域の一体感や活力の醸成	<p>競技団体との連携と「スポーツの持つチカラ」の継続的な発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ スポーツ課のHP・facebook等を活用した情報発信 <p>「スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定」に基づく連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 銀座NAGANOを活用したスポーツイベント等を実施 <p>身近で共に取り組めるスポーツの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ ニュースポーツの普及・拡大 	<p>○県内には地域密着型のプロスポーツチームが相次いで誕生し、注目が高まっている。</p> <p>○トップアスリートを活用したスポーツによる地域活性化の更なる取り組みが必要となる。</p>
2	県内のスポーツ資源を活用した交流と地域の活性化	<p>スポーツと地域の資源を活用した地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 長野県スポーツコミッションの設立、スポーツ大会・合宿の誘致推進 <p>スポーツの視点からのアプローチによる誘客促進等</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 信州“familystyle”を各種媒体を通じてPR ☑ 県内小学生にスキーリフト優待券付きパンフレットを配布 <p>国際競技大会や国民体育大会等の誘致を通じた地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 長野県スポーツコミッションの設立、スポーツ大会・合宿の誘致推進 	<p>○本県の豊かな自然を活用した登山、トレッキング、サイクルスポーツなどのアウトドアスポーツの人気の高まっている。</p> <p>○本県は、特に冬季競技に関し、施設や運営ノウハウを有しており、これらの資源の有効活用や、2020年東京オリンピック・パラリンピックの気運が高まっていることから、国際競技大会や全国規模の競技大会等の誘致・開催することが期待されている。</p>
3	スポーツを通じた健康で活力に満ちた健康長寿社会の実現	<p>青壮年期のスポーツ活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 信州ACEプロジェクトの推進 ☑ 効果的なウォーキング・地域のオリジナル体操の普及等 <p>高齢者が無理なく身体活動に取り組めるスポーツ機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 長寿社会開発センターと連携し、信州ねんりんピックスポーツ交流大会の実施、長野県版身体活動ガイドライン「ずくだすガイド」等の作成・活用 	<p>○高齢者が安全に運動するためには日々の生活活動から活性化することが必要となっている。</p> <p>○安全に歩行可能な高齢者(75歳以上)の割合は男性58.4%、女性43.8%となっている。(H25) 【長野県調】</p>